

令和元年度 浜松市における 森林環境譲与税活用の概要

令和2年8月7日
浜松市産業部林業振興課

令和元年度森林環境譲与税活用事業

- 平成30年税制改正大綱で定める「間伐や人材育成・担い手の確保、木材利用の促進や普及啓発等の森林整備及びその促進に関する費用」、かつ、**増税で確保された財源であるため、新規事業、または、拡充事業(既存)に活用することを基本として計画**
- 令和元年度から開始された森林経営管理法に基づく「森林経営管理推進事業」や皆伐・再造林を進めるための「浜松型林齢平準化促進事業」等を実施
- **執行残金については、財政課と協議した結果、既存事業に充当**

〔 令和元年度森林環境譲与税活用事業 〕

(単位:円)

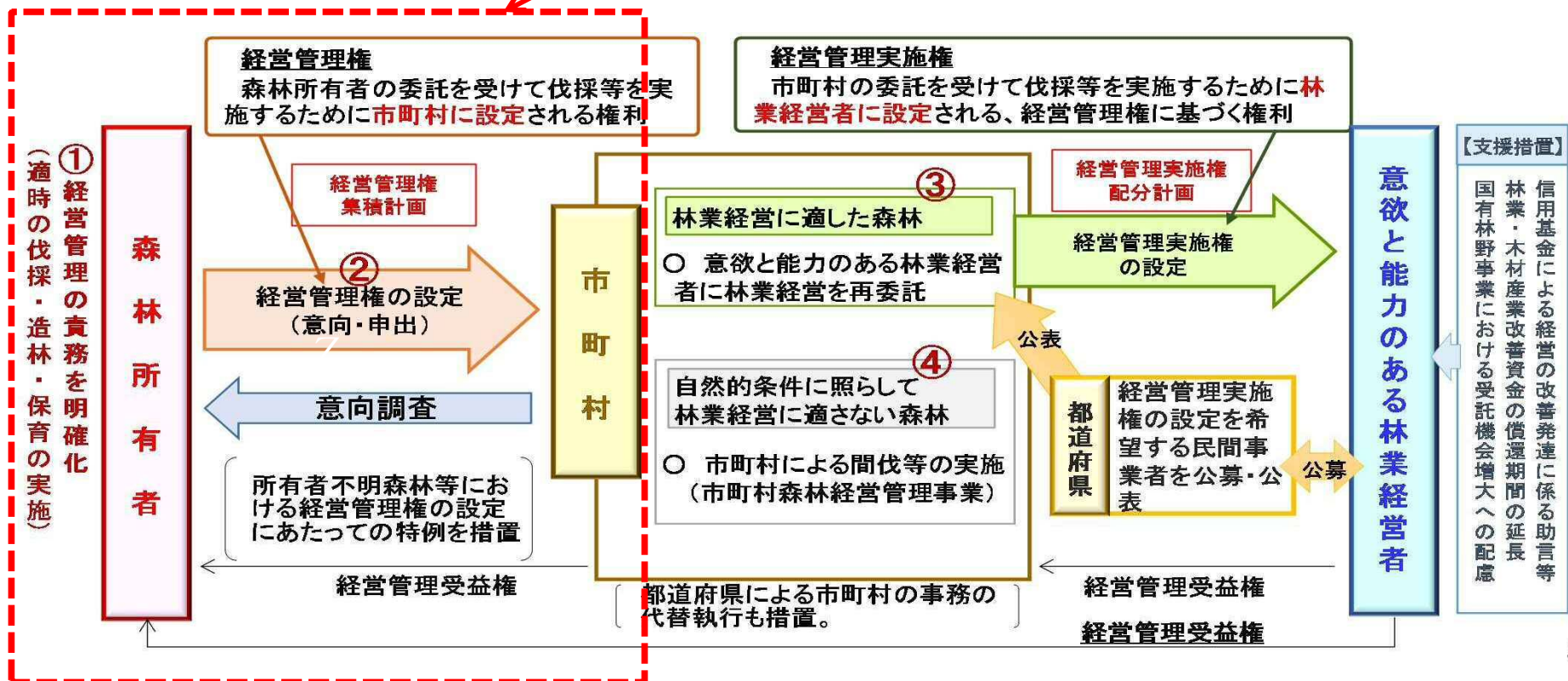
No.	事業名	決算額(見込)		区分	備考
		決算額(見込)	うち充当額		
1	森林経営管理推進事業	14,278,000	14,278,000	新規	森林経営管理法に基づき意向調査等を実施
2	林業従事者助成事業	7,414,000	7,414,000	拡充	補助対象を拡充(講習会参加費用、特殊検診費用等)
3	林道維持補修事業	152,917,370	24,878,000	臨時	林道緊急補修工事(Aランク)
4	低コスト林業推進事業	49,817,000	16,163,000	既存	執行残金を充当
5	森林整備・林業振興事業(林業・木材産業成長産業化促進対策事業、浜松型林齢平準化促進事業)	16,036,000	16,036,000	新規	皆伐・再造林に関する支援
6	森林活用等都市間連携事業	1,119,000	1,119,000	新規	都市部イベントへの参加等
7	森林環境教育推進事業	1,960,200	1,960,000	新規	環境教育の受入団体を設立
8	FSC認証材利用拡大推進事業	7,999,760	7,513,000	新規	展示会参加やラッピングバス運行等で天竜材をPR
9	地球温暖化対策事業(環境政策課)	100,000	100,000	既存	
10	森林環境基金積立金(譲与税分)	31,887,000	31,887,000	—	
合計		283,528,330	121,348,000		

1 森林経営管理推進事業

- 本事業は、森林経営管理法に基づき、適切に管理されていない森林について、森林所有者の意向確認、経営管理権集積計画等の作成、同意の取得等を実施
- 森林経営計画樹立地が近接し、一体として森林施業が見込める森林を対象とし、経営管理権を設定せず民間事業者の森林施業を促進することを優先
→ 浜松市版「新たな森林管理システム」

【森林経営管理法の概要】

今回の委託範囲(経営管理権設定前まで)。経営管理権を設定せず、直接民間事業者の森林施業促進を優先することが浜松市版の特長。



1 森林経営管理推進事業

- 意向調査の実施結果は、森林所有者数:96人、面積:160.59ha
- うち、森林整備への同意は、63人、104.23ha (その他は森林整備内容の調整中 など)
- 森林整備の内容については、利用間伐が26人、65.67ha、保育間伐が41人、34.08ha
- 市町村森林経営管理事業の実施予定は、1人、4.48ha

【令和元年度実績】

No	地域	委託業者	森林所有者数【人】 (意向調査実施者)	調査対象面積【ha】 (簡易測量等実施地)	森林整備同意人数【人】	森林整備同意面積【ha】	(うち利用間伐【人】)	(うち利用間伐【ha】)	(うち保育間伐【人】)	(うち保育間伐【ha】)	(うち市町村森林経営管理事業【人】)	(うち市町村森林経営管理事業【ha】)	森林整備内容調整中【人】	森林整備内容調整中面積【ha】	その他【人】	その他【ha】
1	春野	春野森林組合	18	53.73	3	9.49	1	5.86	2	3.63	0	0.00	9	39.00	6	5.24
2	龍山	龍山森林組合	44	42.38	44	42.38	11	14.11	36	28.27	0	0.00	0	0.00	0	0.00
3	天竜	天竜森林組合	9	32.15	9	32.15	8	29.97	3	2.18	0	0.00	0	0.00	0	0.00
4	引佐	引佐町森林組合	25	32.33	7	20.21	6	15.73	0	0.00	1	4.48	8	10.60	1	1.52
			96	160.59	63	104.23	26	65.67	41	34.08	1	4.48	17	49.60	7	

※ 利用間伐及び保育間伐については、すべて委託業者が森林整備を実施(一部下請けあり)。

※ 天竜は利用間伐と保育間伐の重複者がいるため「森林整備同意人数<(うち利用間伐同意人数+うち保育間伐同意人数)」。

※ 龍山は利用間伐と保育間伐の重複者がいるため「森林整備同意人数<(うち利用間伐同意人数+うち保育間伐同意人数)」。

2 林業従事者助成事業

- 林業従事者が安全に作業のできる環境を整え、林業従事者の定着と新規就業者の確保を目的に実施(補助対象に講習会等参加費用や特殊検診費用を追加)
- 安全装備品の購入等(防護ズボン、安全靴、ヘルメット 等)
 - ・ 助成した林業従事者数:189人
- 新規就業者の給料及び手当金を助成
 - ・ 助成した新規就業者等数:19人



【 補助金を活用して購入した安全装備品 】



3 林道維持補修事業

- 令和元年11月、林道の陥没が起因の事故が発生したため市内林道の調査を実施
- 調査結果により、早急に補修工事が必要な路線・箇所(Aランク)の緊急工事を実施
 - ・ Aランク:9箇所、108m(今回実施)
 - ・ Bランク:26箇所、330m(R2年度実施)
 - ・ Cランク:26箇所、364m(R2年度実施)



【 下線沿林道の洗堀部分等の修繕を実施 】



4 低コスト林業推進事業

○ 木材生産の低コスト化と生産力の向上を図るため、森林所有者がFSC認証林内で行う林内路網等の整備を支援

- ・ 作業道開設: 7件、4,182m
- ・ 作業路開設: 38件、18,564m
- ・ 作業道修繕: 37件、15,572m
- ・ 索道設置・撤去: 3件、13,430m



【 索道設置 】



【 作業道開設(上:開設前、下:開設後) 】



5 森林整備・林業振興事業 (林業・木材産業成長産業化促進対策事業、浜松型林齢平準化促進事業)

【 林業・木材産業成長産業化促進対策事業 】

○ 林齢適齢期に達した森林の主伐に関する再造林等を支援

- ・ 皆伐面積: 3.16ha、材積: 1,223 m³

【 浜松型林齢平準化促進事業 】

○ 主伐された木材の搬出費用を支援

- ・ 皆伐面積: 15.36ha、材積: 7,450 m³



【 皆伐における木材搬出 】

6 森林活用等都市間連携事業

- 首都圏の大都市等との連携推進により、森林・林業への理解を深めてもらい天竜材の販路拡大に繋げることを目的に実施
- 首都圏開催のイベントに参加し、天竜材(FSC認証材)や天竜美林をPR
 - ・ 10/5:「川崎駅前優しい木のひろば」に浜松市ブース出展



【川崎駅前で天竜ヒノキを使用したマイ箸づくりワークショップを実施】



7 森林環境教育推進事業

- 市内外を問わず幅広い世代、団体等を対象にした森林環境教育の受入体制を整備することを目的に実施
- 受入団体「天竜こころの森ネットワーク」が設立するとともにPRパンフレット「みんなの天竜の森入門」を作成
 - ・ 10/17:和光高等学校(22名)を受入
 - ・ 11/16:「なかのエコフェア2019」に浜松市ブース出展



【首都圏高校の林業体験受入】



【なかのエコフェアでの体験講座】

8 FSC認証材利用拡大推進事業

- **天竜材(FSC認証材)の地産外商の積極的な推進**により、新たな利用価値を創出し、天竜材(FSC認証材)の利用拡大に繋げる
 - ・ 11/13～15:ジャパンホームショー出展
 - ・ FSC認証材PRラッピングバスの運行
 - ・ 天竜材使用ノベルティグッズの制作



【丸太がモチーフのラッピングバス
天竜材が東京2020大会関連施設で使用されることなどをPR】



【浜松市ブースでの
展示・説明】



【天竜材(FSC認証材)で作製したノベルティ
(左:コースター、右:お箸)】

9 地球温暖化対策事業(環境政策課)

- **市域の温室効果ガス排出量を算定**し、増減要因を分析することで、今後の削減目標達成に向けた必要施策の検討資料収集を目的に実施
- 2017年の森林吸収量は、405.5千t-CO₂で、**2005年度以降、減少傾向**